

2013年8月1日発行 第161号

おのころ 通信

聖隷淡路病院
〒656-2401
兵庫県淡路市岩屋38
TEL(0799)72-3636
FAX(0799)72-5071
ホームページアドレス
<http://www.seirei.or.jp/awaji/>
発行責任者 長田 裕
編集責任者 白井義隆



聖隷精神(隣人愛)を継承し、
地域に根ざした医療・福祉に貢献する

第15回淡路栄光園夏祭り開催のお知らせ!!

淡路栄光園では、例年行っております夏祭りを今年も開催させていただきます。今回で、第15回目となります。内容としては、婦人会、ボランティア、行政、岩屋地域の皆様、ご家族様、聖隷淡路病院のご協力の元、盆踊り(岩屋、炭坑節、在所音頭)、太鼓など企画しており、ご入居者様、ご家族様にお祭りの雰囲気を作り堪能して頂けるように、やぐらを組み立てたりする予定となっております。また、模擬店も毎年行っており、たこ焼き、焼きそば、フランクフルト、おでん、などご用意しており、できるだけ多くの方々に参加して頂き、楽しいひと時を過ごして頂きたいと考えております。

場所：淡路栄光園
日時：平成25年8月25日(日)
午後16:00~17:30
雨天決行
お問い合わせ：0799-72-2938



※参加のご予約等は不要です。
当日、淡路栄光園までお越し下さい。

今月のトピックス! 子宮頸がんワクチンは有効性とリスクを理解した上で受けてください

子宮頸がんの5~7割はヒトパピローマウイルス(HPV)に数年~数十年にわたって、感染した後に起こると考えられています。このHPV感染を防ぐ子宮頸がん予防ワクチンは世界保健機構(WHO)が接種を推奨し、多くの先進国では公的接種とされています。一方で、ワクチン接種後の体の痛みや歩行障害などの副反応が報告されており、これを受けて厚生労働省は、頻度は少ないものの原因不明の慢性的な痛みを訴える例が複数報告されていることを重視して、「積極的な推奨を一時差し控える」と発表し、リスクをわかりやすく説明する情報を整理するまでの暫定措置として次のように対応することになりました。



- ①自治体による予防接種の案内送付を止める。
- ②希望者は今後も公費で予防接種を受けられる。

まれに起こる重い副反応についてまとめてみました。

病名	主な症状	報告頻度
アナフィラキシー	呼吸困難、じんま疹などを症状とする重いアレルギー症状	約96万接種に1回
ギラン・バレー症候群	両手・足の力の入りにくさなどを症状とする末梢神経の病気	約430万接種に1回
急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	頭痛、嘔吐、意識の低下などを症状とする脳などの神経の病気	約430万接種に1回

※持続的な痛みを訴える重い副反応については調査中となっています。

※副反応により医療機関での治療が必要になった場合には、お住まいの市町村の予防接種担当課へご相談ください。

ワクチンを接種した場合でも全ての子宮頸がんを予防できる訳ではないので、早期発見のために20歳になったら2年に1度の子宮頸がん検診を受けることが大切です。

(厚生労働省「子宮頸がん予防ワクチンを受ける皆様へ平成25年6月版」参照)
(薬剤係 樋川 昭)

緩和ケア相談窓口

がんなどの病気でお困りのことがありましたら、是非ご相談ください。
担当者：緩和ケアチーム(医師、看護師、訪問看護師、薬剤師、リハビリ、医療相談員など)
相談場所：1F 医療相談室 ※電話相談も可能です
相談日時：毎週木曜日(8時半~16時)
診察をご希望の方は、外来受診：黒田医師担当外来へお越しください。
黒田医師担当外来については裏面医師担当表にてご確認ください。(緩和ケアチーム)

お知らせ

○人間ドック、全国健康保険協会 健康保険生活習慣病
 予防健診、淡路市乳がん・子宮がん検診、
 淡路市国保特定健康診査等、各種健診を行っています。
 人間ドック・各種健康診断・予防接種ご希望の方は
 お気軽にお問合せください。

TEL:(0799)72-3636(平日8:30~17:00)

医師担当表 2013年8月

診療科	月	火	水	木	金	土
内科1	佐藤	—	佐藤	佐藤	佐藤	交代制
内科2	白石	白石	白石	—	白石	
外科	黒田	大森	—	黒田	大森	
整形外科	吉原	吉原	吉原	吉原	—	
産婦人科	—	山本	—	岩崎	山本	
皮膚科	—	—	てい 鄭	—	—	

診療科	月	火	水	木	金	土
総合診療科	大森	長田	長田	長田	黒田	—
産婦人科	山本	山本	依藤	岩崎	山本	—
皮膚科	—	—	—	—	てい 鄭	—

- 土曜日は内科、外科、整形外科、皮膚科の医師が交代で診察いたします。担当医については、お電話でお問い合わせください。
- 内視鏡検査は、火曜日と木曜日に行っています。
- 土曜日午前中の皮膚科診療は、10日・24日となります。
- 救急対応や手術等のため診療受付時間が変更となる場合がございます。予めご了承ください。

外来受付時間 午前 7:30~11:30 診療は 9:00~(祝・日休診)
 午後 13:30~16:30 診療は 14:00~(祝・土日休診)
 ☆急病者様は、お電話にてご連絡ください。Tel.(0799)72-3636
 入院面会時間：20:00まで

ドクターおのころの ちょこっとばなし

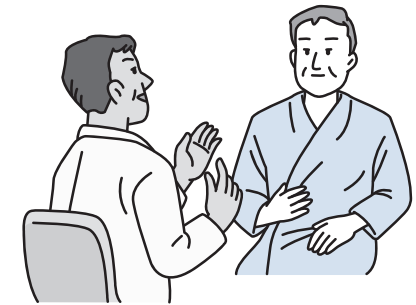
抗癌剤治療・その2

抗癌剤は癌細胞のみならず正常細胞も傷害するために種々の副作用があることは御存じの方が多くいます。副作用には、自覚症状(嘔気・下痢・発熱など)と他覚所見(採血や画像診断で確定できる異常状態)があり、このバランスを取りながら予定のスケジュールに従って抗癌剤治療を行います。このスケジュールはガイドラインという治療指針に基づいて施行されることが殆どで、開始前には効果と副作用を十分に説明し、患者さんに納得して頂く義務が医師に課されます。辛く苦しいと言われる抗癌剤治療ですが、抗癌剤で治癒したいとの期待は、必ずしも抗癌剤の効果とは一致しません。果たして、辛い副作用に耐えるに値する効果があるのかどうかは、癌の種類によっても大きく異なります。今回は消化器癌の抗癌剤治療の効果について説明いたします。

大切なことは、「抗癌剤の効果がある」ということが「癌が治癒する」という意味では無いことです。消化器癌のうち、食道・胃・大腸癌での抗癌剤効果の期待確率(感受性と言います)は20-40%、膵・胆管・肝癌では20%以下と言われております。誤解の多いのが、この確率は「治癒する確率」ではなく、延命や症状緩和が出来る可能性です。逆に言えば、抗癌剤が全く効かない確率のほうが高いこと、そして治癒する確率は再発・転移の場面では殆ど期待出来ません。最近、大腸癌だけは治癒する可能性が期待できる薬剤(分子標的薬)が開発・使用されてきました。その正確な治癒率は未だ不明ですが、延命期間は確実に延長されています。残念ながら他の消化器癌については延命効果も期待できない確率の方が高いのが実状です。

消化器癌の抗癌剤治療は、術後もしくは再発・転移判明時の主として2場面で使用されます。再発・転移時点での抗がん剤の目標は延命や症状緩和が目標になることが殆どで、治癒は極めて困難です。手術をしても明らかに癌が残った場面では、再発・転移と同等の目的となります。一方、根治手術後、すなわち肉眼的にも顕微鏡検査でも癌の遺残がない場面での使用時には、画像診断では確定できない病巣を相手にしなければなりません。この場面では臨床試験で検証された再発抑制や延命効果(前述の感受性相当)を期待して施行します。副作用に耐え、スケジュール通りに施行して初めて効果が期待出来ます。画像的に効果を確認できる再発時とは異なり、スケジュールを完遂するまでは効果があることの確認は出来ません。ただし、スケジュール途中で画像的に病巣が見つければ「効果がないこと」は確認できますが・・・

以上、抗癌剤の治療にあたっては、副作用と効果のバランスが重要です。副作用については主治医が工夫して対応しますが、「何を目標に抗癌剤治療を行い、その効果はどの程度か?」を十分に理解されたうえで開始・継続・完遂することをお勧めします。勿論、治療変更や中止も選択肢の一つです。(外科部長 大森 俊彦)



●無料定額診療事業のお知らせ●

当院は社会福祉事業法にある「無料低額診療事業」を実施している病院です。経済的理由等により医療サービスを受けられない方への支援を積極的に推進する事業所です。制度の利用については、医療相談室へご相談ください。
 医療相談室(社会福祉士：島田) TEL:0799-72-3640